

## テクニック（技）の価値

「一本」にもっと価値を与える。背中が畳につく際に本当のインパクトがある場合にのみその技を一本とみなす。倒れた時に巻き込まれて本当のインパクトがない場合は一本とは考えない。

### ◆スーパー一本

内股や払腰などの技で技が切れすぎて相手がやや回転し過ぎて、背中の一部のみが畳に着いた場合、「スーパー一本」として一本を与える。この場合、受が自ら回転して回り過ぎているのか、取の技が切れ過ぎて（受はなにもできずに）回転しているのかを見極めることが重要。回転しないで背中の一部のみが畳についた場合は「一本」は与えない。

## ○「有効」

選手が相手をコントロールして投げて体の上部側面が着地した場合は「有効」とする

## ブリッジの姿勢での着地

○ブリッジの姿勢で着地した場合はすべて「一本」とみなされる。選手が相手の技からブリッジを使って逃げることがないように、そして頸椎に対する危険性をなくすために、選手の安全を考慮してこの決定がなされた。

## 罰 則

- 1つの試合において3つの「指導」があり、4つ目の「指導」は「反則負け」となる。（すなわち、3回の警告後、失格処分となる。）
- 「指導」は相手の選手にポイントを与えない。技によるスコアのみがポイントとしてスコアボードに表示される。試合の最後にスコアが同等の場合、「指導」が少ない選手が勝者となる。
- スコアも「指導」も同等の場合、時間無制限のゴールデンスコアへ続くが、最初に「指導」を受けた選手が敗者となる。または、最初に技によるスコアを得た選手が勝者となる。
- 「指導」を与える場合、選手はその場で与えられる。両選手は通常の開始場所にいなくても良い。（待てー指導ーはじめ）。ただし、選手が試合場を去らなければならない指導（4回目）は対象外とする。
- 4回目の指導は開始線部分に選手が戻ってから与えること。

## 以下の場合、「指導」の罰則が与えられる

### ◆ 組み手について

- ① 両手を使って相手に組まれないようにする行為。
- ② 自身の襟を腕や手で隠す、握るなどの行為で相手が組みに行くのを妨害する。
- ③ 袖口のピストルグリップやポケットグリップをした場合は直ちに攻撃しない場合。グリップした瞬間攻撃に移らないと「指導」。（今までは時間を与えすぎていた。これからは厳しく指導を取る）
- ④ ポケットグリップは袖口部分を握った場合をいう。袖口以外の袖をポケットグリップの形で握ることは問題ない。

- ⑤ 組み手争いのなかで2回組み手を切った後、3回目に切った場合は指導。組み手を切って技を仕掛けたりする場合は問題ないが、組み手を切るだけの行為を繰り返した場合はネガティブ柔道となり指導が与えられる。(3回切って指導が与えられた後にもさらに組み手を切るだけの行為をした場合には数に関係なくネガティブ柔道とみなされ指導が与えられる。
- ⑥ 両手を使って相手の組み手を切る行為は指導。
- ⑦ 右組と左組の場合、引手を宙に浮かせて組まない場合、指導。
- ⑧ 自身の引手の手首にもう一方の手をおいて組み手を切る行為は指導。(両手を使って組み手を切ると同じ行為であると判断)
- ⑨ 片襟を持ち、その手で相手の釣り手を切る行為は指導。(両手で切る行為と判断)
- ⑩ お互いが組み手を切りあった場合、同じ行為が繰り返された場合は両者に指導。
- ⑪ 相手の組み手を強くはたく行為は指導。
- ⑫ 片襟、クロスグリップ、帯を持つなどの組み手で「直ちに」攻撃しない場合は指導。(これまでは、時間的な猶予を与えすぎていた)
- ⑬ クロスグリップの状態から見せかけの内股(内股を仕掛け、ケンケンしている状態)は、本当の攻撃とはいえないので最初は「待て」を宣言し、2回目は「指導」。
- ⑭ 相手を押して腰を曲げた状態にさせる行為は押している選手に指導が与えられる。(攻撃をしないで押し倒しているだけの状態の場合)
- ⑮ 足を使って組み手を切る行為は指導。

#### ◆ 場内外について

- ① 場内で技を掛け合うことを目的としている。意味もなく場外に出た場合は厳しく指導を与える。
- ② 片足が出た場合は直ちに攻撃するか、場内に戻らないと指導が与えられる。
- ③ 片足が出て偽装攻撃をした場合には指導が与えられる。
- ④ 攻撃などのアクションのないまま両足が場外に出た場合は指導。
- ⑤ 相手を押して場外に出した場合は、押した選手に指導が与えられる。(押しているだけで攻撃をしていない場合)
- ⑥ 相手に技を掛けられて場外に出た場合は指導ではなく「待て」
- ⑦ 場内で始まった攻撃は、立技・寝技共に一連のアクションであれば場外に行っても継続される(今までと同じ解釈)。一連のアクションが続いている限りは場外での返し技等も有効とする。  
例：場内でケンケン内股をかけて両者が場外に出た後、受けが返し技で取りを投げた場合はスコアになる。
- ⑧ 試合者がほぼ同時に技もなく場外へ出た場合は、両者に指導を与える。

#### 以下の場合、「反則負け」の罰則が与えられる

- 立ち技の際、片手、または両手、もしくは片腕、または両腕を使って相手の帯から下を攻撃する、またはブロックするすべての行為は反則負けとなる。脚を掴んでいいのは、両選手が立ち技からクリアに寝技の姿勢になった場合のみである。